MANUAL BOOK

母集団研修 実施マニュアル

2023年4月　version1.0

埼玉県スポーツ少年団
企画広報委員会

母集団研修事業を企画・運営する皆様へ

埼玉県スポーツ少年団では、地域に根差したスポーツ少年団活動の中で、子どもたちの心とからだを育てるために、各単位団における「母集団（サポートグループ）」の組織化を目指しています。

本事業は、スポーツ少年団に関わる様々な人を対象とした研修を開催し、母集団（サポートグループ）活動の認知向上と理解促進を図り、また中核推進者の育成を行うことを目的として実施しています。

MENU

1 母集団研修事業の全体像
パワーポイント資料の活用例
2 必修Ⅰ スポーツ少年団とは＆スポーツ少年団活動
3 必修Ⅱ 育成母集団の役割と活動

1 母集団研修事業の全体像

⑴ 埼玉県スポーツ少年団補助事業　母集団研修のリニューアルについて

令和3年度より育成母集団研修会の実施方法が変更となりました。**変更については、参加者や運営する皆様の声をもとに、主に以下の点を改善しています。本マニュアルでは、特に見直しを行った「研修内容」について、パワーポイントの資料を基にした展開例をお伝えします。**

- 時間短縮
- 研修内容の見直し
- 費用面改善
- 募集事業数UP

⑵ 母集団研修の対象者と人数

対 象	当該年度スポーツ少年団登録団の**「役員」・「スタッフ」、保護者、地域の人等**で単位団を支える人を対象とします。また、これから単に団を設立しようとしている方を支える人も対象です。
人 数	補助事業として実施する場合は**1事業30名程度**とします。

⑶ 実施方法

時 間

1コースは延べ3時間程度で実施してください。

研 修 内 容

必修科目2時間と選択科目1時間で、合計3時間程度としてください。
選択科目は、以下【選択科目】の中から１つ選択して実施してください。

必修科目

- スポーツ少年団とは＆スポーツ少年団活動（1.0）
- 育成母集団の役割と活動（1.0）

選択科目

- 少年期のこころとからだ（1.0）
- アクティブチャイルドプログラム（1.0）
- ニュースポーツ（1.0）
- レクリエーション実技（1.0）
- 野外活動のすすめ（1.0）
- 熱中症対策について（1.0）
- かんたんにできる応急処置・テーピング（1.0）
- その他スポーツ少年団本来の活動を促進する内容　等

⑷ テキスト

必修科目

必修科目は、県本部で作成したパワーポイント資料をご活用ください。
※ 活用にあたっては、本マニュアルの「2 パワーポイント資料の活用例」をご参照ください。

パワーポイント作成の意図

新たに母集団研修を実施する市町村の支援ツールとしての位置づけと共に、これまで県本部が進めてきた「母集団の認知向上と理解促進」や「中核推進者の育成」をさらに発展させるために、研修内容の標準化を図る意図で作成しています。
また、作成したパワーポイントは**【参加型】【体験型】【交流型】**となる内容で構成しているため、参加者が種目を越えて横のつながりを感じるられるような研修を実施していただきたいというねらいもあります。

※ パワーポイントの資料は、「スポーツ少年団ガイドブック」の内容を県本部が抜粋し、作成したものです。研修事業リニューアルにあたり、可能な限り県本部作成のパワーポイントを使用していただきたいと思いますが、これまで市町村で実施した母集団研修が、効果的な手法で行われていた場合は、この限りではありません。

選択科目

選択科目の資料は各市町村で作成してください。
※作成した資料は、報告書とともに、県本部へご提出願います。

その他

研修の振り返り教材として、埼玉県スポーツ少年団本部で作成した**「育てようスポーツで子供の心と体」**の冊子を配布してください。

⑷ 研修カリキュラム例

時間	内容	備考
9：00 9：05	開講式・日程説明	
9：05 10：05	研修1　『スポーツ少年団とは&スポーツ少年団活動』	【必修Ⅰ】
	休憩	
10：15 11：15	研修2　『育成母集団の役割と活動』	【必修Ⅱ】
	休憩	
11：25 12：25	研修3　『　　』	【選択】
12：25 12：30	閉講式・諸連絡（今後の活動に向けて）	

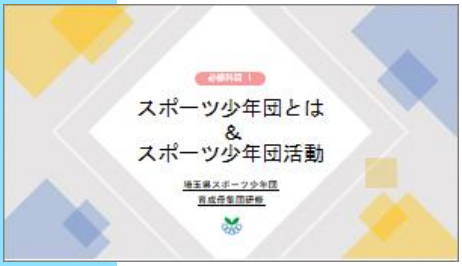
2 パワーポイント資料の活用例

必修Ⅰ 「スポーツ少年団とは&スポーツ少年団活動」

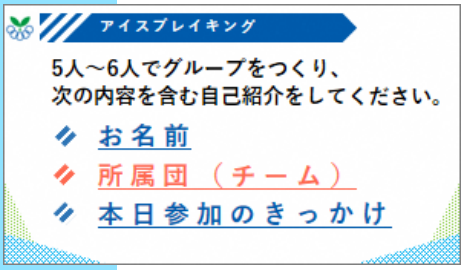
TIME

アイスブレイク

4min



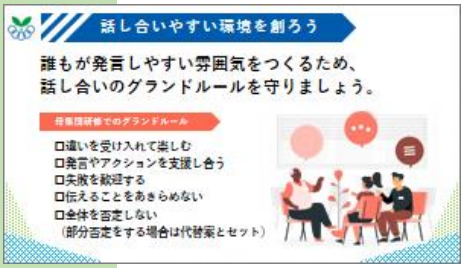
初めに研修会の環境づくりの一環として、参加者が発言しやすい雰囲気づくりを行います。
ここでは**「アイスブレイク」として、参加者同士でグループを作り簡単な自己紹介**をしてみましょう。



※ まずはあいさつ程度の自己紹介として、誰もが発言しやすい内容にしましょう。

補足

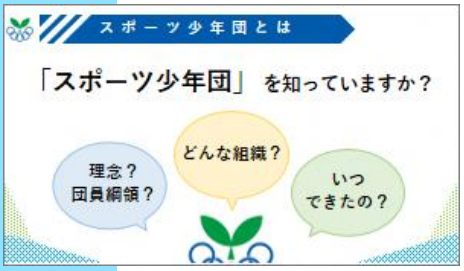
1min



自己紹介を終えたら、**パワーポイント資料を使って、「話し合いやすい環境を作るためのポイント」を説明してください。研修のねらいである「参加型」「体験型」「交流型」を参加者に理解してもらい、よりよい研修にしていくためです。**

スポーツ少年団とは

3min

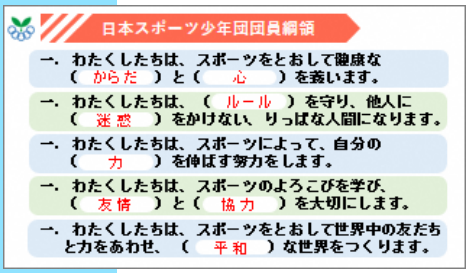


続いて、参加者が研修に「参加する」きっかけを作ります。
例えば参加者に**「スポーツ少年団とは何か知っている人」と全体に問いかけ挙手をしてもらったり、「どんな組織か？」「いつできたのか？」などを参加者に問いかけたりしましょう。**
正解を出してもらうことが目的ではなく「研修を通してスポーツ少年団」の理解を深めることがゴールであることを強調し、発言者には拍手を送るなどの工夫をして研修の始まりの雰囲気を作ることも心がけてください。

TIME

スポ少　団員綱領

5min

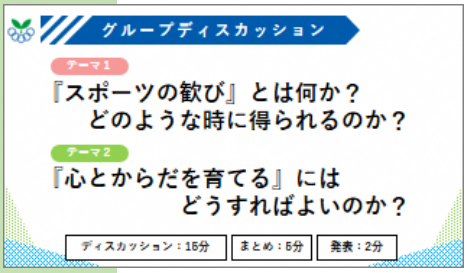


続いて、前の資料からの繋がりとして、団員綱領の穴埋めクイズをします。

※ パワーポイントの資料にはひとつひとつの回答にアニメーションをつけてあるため、回答のタイミングで表示させることが可能です。
※ この穴埋めクイズもアイスブレイクのひとつとし、あまり時間をかけず正解を出してください。

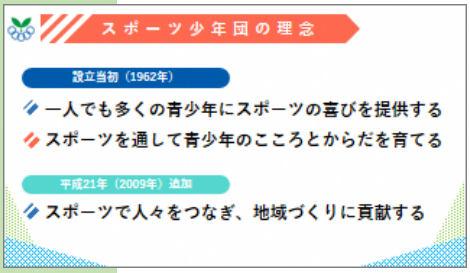
スポーツ少年団　理念

35min



グループディスカッション

続いてグループディスカッションを行います。
各グループごとに、表示された２つのテーマどちらかを選択し、テーマに沿った意見交換をしていただきます。時間はディスカッション15分、まとめ5分、各グループの発表2分程度です。



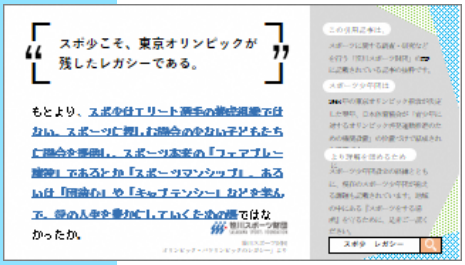
各グループの発表内容を「理念」に繋げる

スポーツ少年団では、「**一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する**」「**スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる**」という理念があります。
各グループの発表には、この２つの理念につながる内容が含まれていると思いますので、それらを紐づけ、**スポーツ少年団が『「スポーツの持つ本質的な価値」を子供たちに気づかせ、人間力を育むことを目指している』ことを伝えてください。**

※ 平成21年に追加された理念「**スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する**」は、【必修Ⅱ】育成母集団の役割と活動で取り上げるため、ここでは軽く触れる程度にしてください。

スポ少　歴史

5min

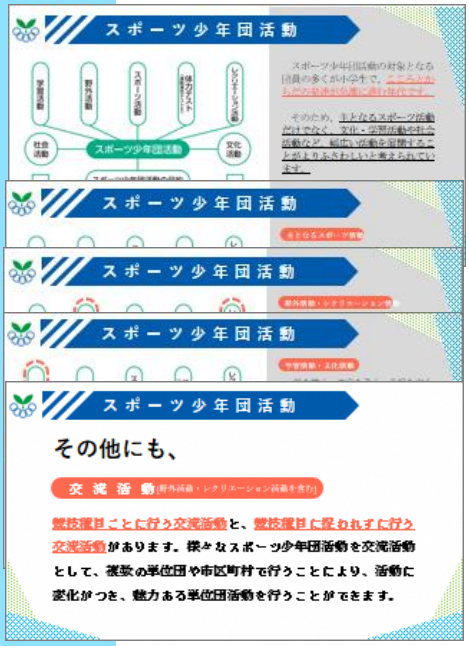


ここまでスポーツ少年団の「綱領や理念」について考えたので、「**スポーツ少年団の歴史」についても簡単に紹介**していただきたいと思います。
ここでは、1964年の東京オリンピックのレガシーと言われるスポ少のこれまでのあゆみや現在の課題について書かれた記事を紹介してください。
あまり深く掘り下げる必要はありませんが、**是非研修の前には講師となる方もご一読いただき、ご自身の考えなども盛り込んでお話していただけると、参加者がより身近な問題として認識していただけると思います**のでよろしくお願いいたします。

TIME

スポーツ少年団活動

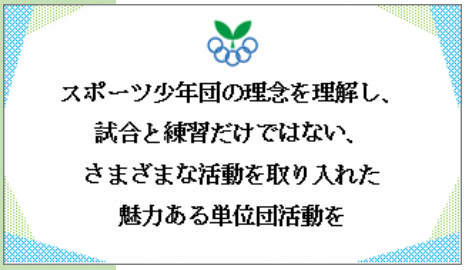
6min



最後に「スポーツ少年団活動」についてです。
※資料5枚分
ガイドブックの掲載内容の抜粋であるため、文章を読み上げ、説明する形となりますが、**「どのような活動があるか」だけでなく、「その活動により、どのような効果が期待されるか」についても触れていただきたいと思います。**

まとめ

1min



そして、この「スポーツ少年団とは＆スポーツ少年団活動」で学んだこと、話し合ったことは指導者以外にも、より多くの団に関わる人に知ってほしい内容です。参加者に対しては、**研修で学んだことや、ディスカッションで出た意見などを、団に持ち帰り話し合うよう促して**いただければと思います。

3 パワーポイント資料の活用例

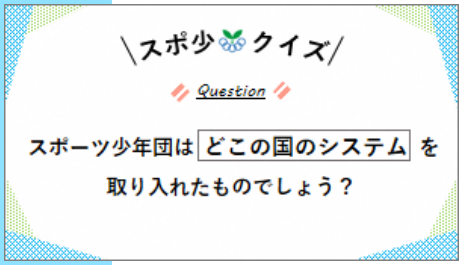
必修Ⅱ 「育成母集団の役割と活動」

TIME

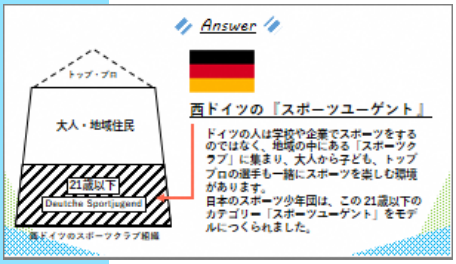
アイスブレイキング（～導入～）

5min

必修Ⅱでも引き続き、参加者が講義に参加し、また交流が生まれる講義を行ってください。
必修Ⅰと同様に、**研修の初めはアイスブレイクとして時間をかけずにクイズを行います。**



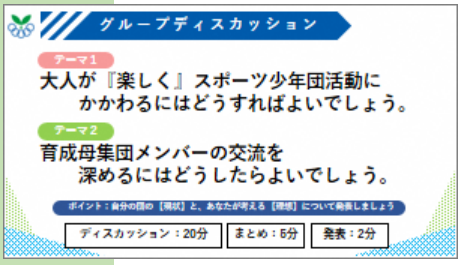
※ ここでは、スポーツ少年団のもととなった、ドイツの「スポーツユーゲント」の紹介をしていますが、**必修Ⅱでは、「大人もスポーツを楽しむこと」や「地域のスポーツクラブとしての位置づけ」を主軸において研修を組み立てています。**研修Ⅰでおこなった理念なども、このスポーツユーゲントの在り方をモデルにしています。



※ 「スポーツユーゲント』の簡単な紹介は、パワーポイント資料のノートに説明をつけているので、ご参照ください。

母集団の関わり

35min



グループディスカッション

続いてグループディスカッションを行います。
必修Ⅰと同様に、各グループごとに、表示された２つのテーマどちらかを選択し、テーマに沿った意見交換をしていただきます。時間はディスカッション20分、まとめ5分、各グループの発表2分程度です。

【現状】と【理想】から【なにをすればいいか】を考える

パワーポイントにも表示がありますが、**テーマに沿って、団の【現状】と【理想】を話し合うよう促してください。**
そこから見えてくる「何をすればよいか」を、次の「母集団とは」「母集団の役割」の説明につなげていきます。

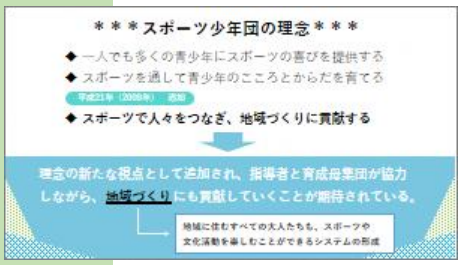
TIME

育成母集団とは

5min

ここからは、母集団とは何か、母集団にはどんな役割があるのかの説明です。
埼玉県スポーツ少年団では、**育成母集団と指導者が協力し団運営をすることを、車の両輪にたとえています。**
子どもを中心としたスポーツ少年団の組織は、**指導と同じように、母集団も重要なポジションにいること、そして協力しあうことが大切だということを説明してください。**

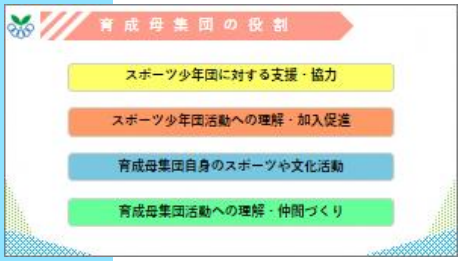
補足



そして改めて、スポーツ少年団の理念の3つめ「**スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する**」の説明をし、指導者と母集団が協力しあうことが求められていることを伝えてください。

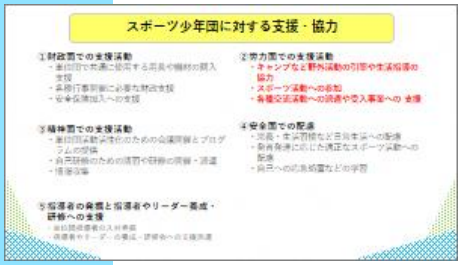
育成母集団の役割

10min

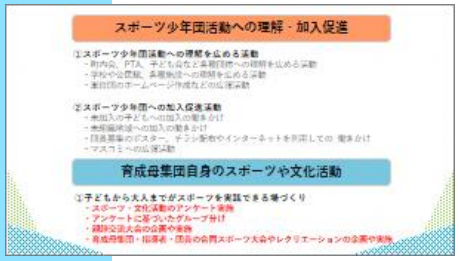


続いて、「育成母集団の役割」についてです。

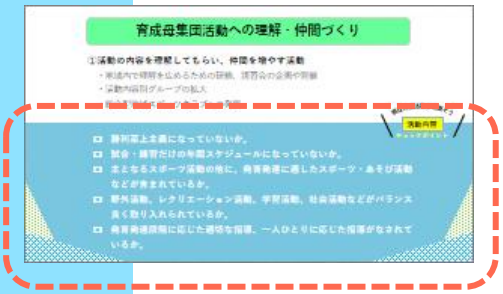
※ 資料３枚半。日本スポーツ少年団ガイドブックの内容を抜粋しています。



ここでは、育成母集団にはどんな役割があるのかを、読み上げて説明してください。
説明は、ディスカッションで出た、「大人が楽しくスポーツ少年団活動をする方法」や、「育成母集団メンバーの交流」の回答とそれぞれの役割を紐づけながら説明をお願いいたします。



※ ディスカッションのテーマから発言が予想される箇所は、赤字にしてあります。

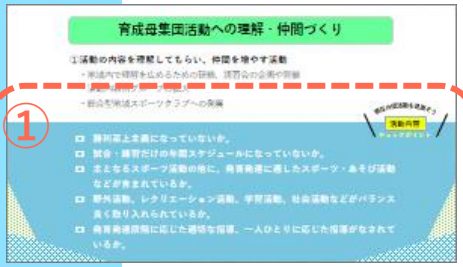


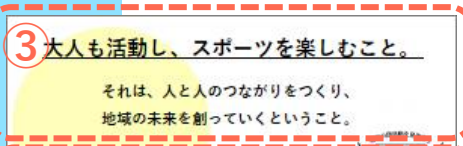
※ 赤破線にはアニメーションがかかっています。
次ページで解説

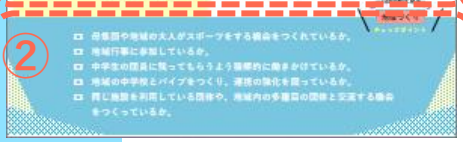
TIME

5min

まとめ







※ 赤破線にはアニメーションがかかっています。

【活動内容】のチェックポイント

最後に、**今回の講習会の内容を持ち帰り、話し合ってもらうため、チェックリスト形式で【活動内容】に関するポイントをまとめています。**

【地域づくり】のチェックポイント

また、**【地域づくり】の視点で考えることも重要であるため、【活動内容】と同様にチェックリスト形式でポイントをまとめています。**

アニメーションでメッセージが出て終了です。
現在、団員減少や指導者不足によって、多くのスポーツ少年団が、団の存続について考えなければいけない状況にあります。活動内容の見直しだけではなく、地域の未来をつくるために、社会課題の解決などにも目を向ける必要があることを、参加者にも伝えて終了してください。